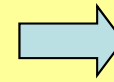


# 赤ちゃんに影響を与えない放射線量は？

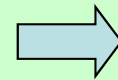
お父さんやお母さんが被ばくしたことにより、  
将来生まれる赤ちゃんに与える影響



遺伝的な影響

- ・ 広島や長崎の原爆の影響の評価の結果からは、被ばくした方々のお子さんに遺伝的な影響は認められていません。

お母さんのおなかにいる赤ちゃん  
が被ばくしたことによる影響



赤ちゃん自身が被ばくしたことによる影響(確定的影響)

- ・ 国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告では、(短時間に浴びる場合で)「100ミリシーベルト以下の被ばくでは人工妊娠中絶の理由とすべきではない」としています。
- ・ 産婦人科学会からは、(短時間に浴びる場合でも) 50ミリシーベルトの被ばくまでは影響ないという見解が出ています。
- ・ 胎児の精神遅延は確定的影響と呼ばれるもので、一度に多くの放射線(しきい値は120ミリシーベルト)を受けなければ起こりません。
- ・ 女性が永久不妊になるしきい線量は生殖腺への急性被ばくで2,500 ~ 6,000ミリシーベルト、慢性的な被ばくで1年あたり200ミリシーベルトとされています。